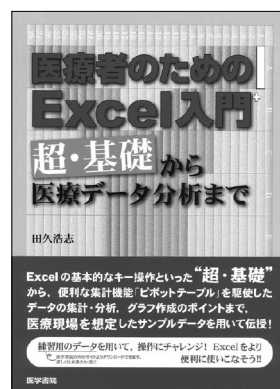


『医療者のための Excel 入門 超・基礎から医療データ分析まで』 著者が実際に使って得た ノウハウの塊！

著：田久浩志／定価：本体 2,300 円＋税
発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



現代の医療はエビデンス(科学的根拠)に基づいて行われることが求められている。あらゆる場面において情報があふれている状況で、経験と勘だけで医療を進めるということはあるが、その情報のなかから、不確かな情報や誤った印象に惑わされず、正しいものを取捨選択するための情報リテラシーを身につけることが必要になってくる。そのためにはデータ分析が欠かせないが、「数字が苦手」と嘆く医療者が多いのも現状である。本書はそんな医療者のために書かれたといってもいいだろう。

まずステップ1では、Excelの基本的操作と裏ワザを詳細に説明している。パソコン操作に慣れていない人にとってはとてめありがたい内容であるが、慣れ親しんだ人にとってもその裏ワザは必見である。

ステップ2では、情報処理の方法を実際の医療に関するデータを用いて学習することができる。ここではデータ分析のために必要となる準備方法について、練習することが可能となっている。ステップ3では、「語りかけるデータ」の示し方について説明している。著者は『分析結果の表現編』とネーミングしているが、効果的に内容を伝えるための表とグラフの作成方法が解説されている。

ステップ4では、大量のデータを扱うときに役立つピボットテーブルの使い方を、練習用のデー

タを活用してマスターする方法が詳細に説明されている。ステップ2と同様に医療現場を想定したサンプルデータを用いて進めるデータ整理からグラフ作成までのポイントを、初学者であっても練習しながら理解していくことができる工夫がされている。そしてステップ5では、Excel関数や分析ツールを使ってできる検定の基礎について解説している。特別な統計ソフトを使わなくてもExcelで「楽に解析できる」ことを実感できる。

本書は「数字が苦手」「Excelはあまり自信がない」と感じている医療者や医療系学生にこそ必ず役立つ1冊である。何よりも練習用のデータをWebサイトよりダウンロードし、練習することができるという点で、従来の書籍と違う嬉しさがある。いわゆる入門編と名のつく書籍では、一読してわかった気になるが、実際にトライするとできないということをしばしば経験する。本書では、わかりやすい説明のあとに、実際にサンプルデータを活用して、データ入力から分析、グラフ作成まで、読者がたどる道筋を詳細に説明しているため、「わかった気になる」のではなく、「実際にできるようになる」のである。

「実際に使って得たノウハウの塊です！」と著者は確言しているが、その言葉に偽りはなく、本書はまさしくExcelのノウハウの塊である。教員、学生問わず使える書である。